

## 早池峰山&岩手山山行報告

【山行日】2015年 10月10日(土)~11日(日)

【集 合】 栃木市運動公園P AM 3:00

【費 用】 マイカー1台 : 18,000円

【メンバー】 CL:鈴木、大西、香川、島田、関、津佐、  
10月10日(土) 曇り後晴 川原坊からコメガモリ  
沢経由で早池峰山に登り、小田越へ下山

栃木市運動公園 P3:00=川原坊 P8:30/8:50~頭垢離  
9:20~早池峰山 11:55/12:30~小田越 14:15~川原坊  
14:35/14:45=ペンションさんりんしゃ 16:30



東北の日本百名山第2弾、「早池峰山」と「岩手山」を計画した。



三連休初日で東北道が混雑し、前沢SAで給油待ちが30分以上掛かり、登山口の河原坊へ30分遅れて着いた。途中、早池峰湖から川原坊までの県道は紅葉が素晴らしく、皆さん「この紅葉を見られただけで満足、山に登れなくてもいいや」と言っていた。

川原坊の駐車場に着くと、満車状態だったが一番上の駐車場に1台分空きがあり止めることが出来た。トイレとストレッチを済ませ、登山届を出して出発する。

岳川を渡渉し、直ぐに樹林帯に入る。

紅葉の樹林帯を過ぎると、コメガモリ沢を渡渉し、沢沿いの岩を伝いながらの登山道となる。

やがて頭垢離の水場に着き、冷たい水を飲んで一息入れる。

頭垢離からは本格的な岩場の登りとなり、傾斜も急になる。上を見上げると、山頂に掛かっていた雲が晴れ山頂が見えるようになるが、また雲に覆われてしまう。右手の尾根上に飛び出すと、展望が開け川原坊の駐車場や対岸の山々が見渡せる。「ゴザ走り」、「打石」などの巨岩奇石の中を道標に導かれ、一步一步高度をかせぐ。やがて傾斜が緩くなり、稜線に出るとそこはもう山頂の一角で、神社や避難小屋がある。山頂に掛かっていた雲は無くなり、岩手山をはじめ奥羽山脈や三陸海岸が遠望できる。神社の前で記念写真を撮り、風が強いので避難小屋で昼食を食べることにする。



風が強いので避難小屋の扉を閉めると、暗くて何も見えずヘッドランプを点けて焼きそばを作る。焼きそばとおにぎりで、空いたお腹を満たし温かいお茶で体を暖める。





下山は小田越を目指して下る。小屋の前から急な岩場を下ると、直ぐに平坦地になり木道を歩くようになる。

御田植場を過ぎると、正面に薬師岳を見ながらの急な下りとなる。この先がコース最大の難所「天狗の滑り岩」で、長いハンゴを慎重に下る。竜ヶ馬場を過ぎ、巨岩の飛び石を辿ると樹林帯になり、やがて木道が現れる。木道を歩くと間もなく鳥居をくぐり、小田越の林道に出る。林道を右に進み、見事な紅葉の中を緩やかに

降りて行くと川原坊の駐車場に着く。途中、早池峰山の全容が見渡せ、夏場では見られない景色に出会えた。風は強かったが、山頂からの眺望と林道の紅葉が素晴らしく、皆さん大満足の山行だった。今宵の宿ペンション「さんりんしゃ」は温泉付きで人気の宿。

早速温泉に浸かり山行の疲れを癒し、ワインと焼酎で反省会。夕食も、岩手牛のステーキと魚のソテーで美味しいワインをいただき上機嫌。

明日の岩手山登山に備え、早めにベットにもぐり込む。



**10月11日(日) 曇り後雨 馬返しから1380m地点で撤退し、小岩井農場でお買い物し帰宅**

**さんりんしゃ 5:30～馬返 5:50/6:10～1380m地点 8:00～馬返 9:15/9:55＝小岩井農場 10:20/11:00＝長者原 12:30/13:10＝栃木市運動公園 P16:10**



4:30分に起床し、宿で用意してくれたおにぎりを食堂でいただく。サケとコンブのおにぎりに、おかずが付いてミニトマト、ヨーグルト、南部せんべい等美味しくいただいた。

ペンションを5:30に出発し、5:50に馬返の登山口に着く。広い駐車場には、すでに十数台の車が止まっていた。

ストレッチを済ませ、出発する。悪天候が予測されるので、健脚組とのんびり組の二班に分かれ、行ける所まで登ることでスタートした。地元の自称プロカメラマンと一緒に付

いてきて、岩手山について説明を受けながら歩く。天気予報は曇り後雨で9時過ぎから弱雨の予報だが、風が心配である。

先週と同様、北海道の北に発達した低気圧が居座り、冬型の気圧配置が荒天をもたらしている。

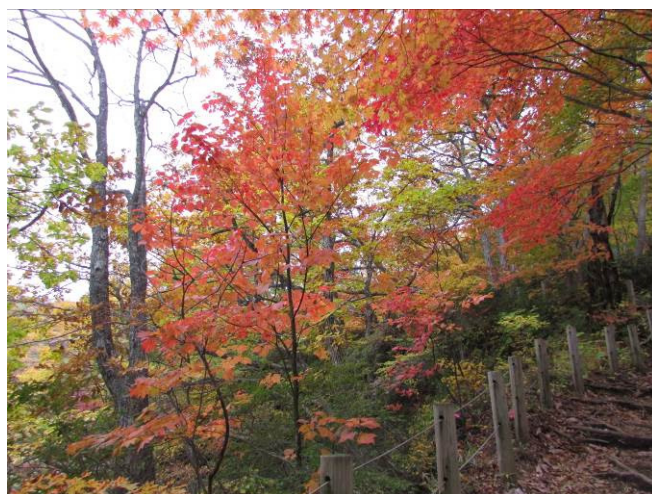
馬返しから三合目までは紅葉の樹林帯を歩き、風も無く快調に高度を上げて行く。三合目を過ぎる

と灌木の露岩帯を歩くようになり、風をまともに受けるようになる。高度を上げるにしたがって、ますます風が強くなり水滴がメガネに付いて視界が悪くなる。

予報よりも早く天候が悪化している。

露岩帯の登りは風を遮るものが無く、強風により体が振られるようになり1400m地点で登頂を断念し下山する。降り始めると、下からどんどん登山者が登ってくる。愛媛県から来た、ツアーの団体が登って来たが服装が軽装でとても寒そう。三合目の手前でのんびり組の二人と出会った。

しばらく一緒に下ったが、雨が落ちてきたので健脚組は先に降りさせてもらう。途中雨が強くなり、レインウエアーの上衣を着た。2合目あ



たりからは紅葉が真っ盛りでとても綺麗。登りではうす暗く、色がはっきりしなかったが、明るくなって色鮮やかになりとても素晴らしかった。写真を撮りながら下り、傾斜が緩くなるとやがてキャンプ場に着いた。キャンプ場の大きな東屋で、後の二人を待つ。

二人が到着し、荷物を車に載せて小岩井農場へ向かった。小岩井農場の「まきば園」は入場料を取られるので、反対側の直売所でお土産を買う。野菜やキノコがとても安く、皆さん袋を抱えて戻ってきた。農場入口の小さな売店に

寄りソフトクリームを食べ、チーズやヨーグルト等のお土産を買いこむ。東北道に入り、途中長者原SAで昼食を食べ、渋滞も無く順調に走り4時過ぎに栃木市運動公園に帰着した。

岩手山は登頂出来なかったが、来年コマクサの時にリベンジしようと約束する。。